



JAPAN
MARROW
DONOR
PROGRAM

安全情報

平成 17 年 11 月 7 日

(財) 骨髄移植推進財団
認定施設採取責任医師 各位

財団法人 骨髄移植推進財団
ドナー安全委員会

骨髄採取後、CPK高値となった事例について

非血縁者間骨髄ドナーに、骨髄採取後、CPK が 5000 以上の高値となった事例が最近 3 例続いて報告されました。CPK3000 以上となった症例は過去にはなく、ドナー安全委員会としては新たな有害事象として注目しています。

それぞれの採取施設からの報告によれば以下のような概要です。

< 経過 >

事例	Day +1	CPK 11464	GOT 246		
	Day +2	退院	CPK 8077	GOT 224	
	Day +3	CPK 7720	CK-MB 61	LDH 386	
	Day +13	CPK 101	GOT 20	LDH 158	
事例	Day 0	採取終了後より、比較的激しい心窩部痛・嘔気が出現 血圧 116/62mmHg 脈 78/分 呼吸数 36/分 SpO2 98 %			
	Day +1	CPK 7400	GOT 106	GPT 29 LDH 800 トロップT 陰性	
	Day +5	退院	CPK 462	GOT 33 GPT 31 LDH 322	
事例	Day +0	CPK 873	GOT 34		
	Day +2	退院	CPK 6833	GOT 85 CK-MB 5 ミオグロビン 154 心電図所見：T 波平低化（+）	

< 今後の対応 >

本委員会としては、採取施設の報告書から原因は特定できないことから、原因究明と再発防止策を検討するため、今後 CPK の測定（入院時、採取後、退院時）の徹底をお願いしたくご依頼申し上げます。

また、CPK 高値を示した場合は、手術記録、麻酔記録、薬品記録の提出をお願いいたします。

以上をご確認の上、ご対応をお願い申し上げます。

財団法人骨髄移植推進財団
ドナー安全委員会
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町 3-19
廣瀬第2ビル 7 階
TEL 03 - 5280 - 2200
FAX 03 - 5283 - 5629